



第35号

発行 「奈良市自治連合会
だより」編集委員
発行部数 13,500部

危機意識を持ち、課題に向き合おう！

—令和6年度奈良市自治連合会総会—

基盤組織である自治会の活動を支援し、活性化するとともに、地域各種団体・行政と連携のもと、地域自治の仕組みづくりを進めよう。

令和6年5月15日（水）、はぐくみセンター9階大講座室にて奈良市自治連合会総会を開催しました。

会員総数49名、全てが出席し、奈良市自治連合会会則第6条の規定により本会議が成立するとの報告があり審議にはいりました。

令和5年度活動・決算・監査報告があり、令和6年度役員・監査・活動計画案・予算案すべて原案通りに承認可決されました。

令和6年度 活動計画

奈良市自治連合会は、地区自治連合会相互の連携を図り、その中心的存在として連合体機能を発揮しつつ、更なる「地域自治協議会」設立への取り組みを通して、各地区自治連合会から“頼りになる”存在となることを目指します。

また、各地区自治連合会や行政が抱える重要課題の解決に向かって必要に応じた取り組みを行うなど、イコールパートナーとしての役割を果たします。

共に考えよう！地域の困りごと

奈良市自治連合会 会長 作間 泉

平素は奈良市自治連合会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度4年目の会長を拝命致しました作間と申します。

今年度は最優先課題として、自治会活動を円滑化するための方策を新設した地域課題検討部会において検討していく所存です。

一昨年の自治会アンケート、昨年の課題検討ワークショップ、市長との意見交換会、自治会長研修会でいただいた課題を1つでも多く解決に導くため6月より協議しています。

まずは自治会の会員減少と役員の担い手不足の対策をどのように工夫しておられるかの実態調査と、この大きな課題を解決するための手段の協議を重ねています。

この部会で協議した内容等は地区自治連合会長を通して自治会の皆様に報告し、検証までしっかりとフォローしていきたいと思っています。

今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

1. 「地域自治協議会」の設立及び推進へ、諸施策の促進

令和6年度「地域自治協議会推進部会」は、定例会での開催から役員会終了後の開催に変更し、設立地区及び準備地区並びに希望する後続地区が参加し、取り組み状況に応じたグルーピングで具体的な協議検討内容の充実を図ります。

2. 奈良市自治連合会の運営改善

役員の分掌業務を明確にし、各役員が自発的・積極的に職責を果たすなど集団で運営する体制を進めることとし、奈良市自治連合会としての協議体機能を最大限發揮させます。

令和6年度は、「学校部会」「福祉部会」「防災防犯部会」を廃止し、「地域課題検討部会」を新設し、アンケートやワークショップで抽出した地域課題を中心に市の関係各課とともに定例会の中で具体的に協議し、地域活動活性化の一助になるよう実行に移していきます。

3. イコールパートナーとしての参画と協働

行政が抱える全市民的な重要課題について関心を高め、状況把握のうえ市民目線で進捗のための取り組みを引き続き行います。

行政課題への計画段階からの参画と協働については、「市民参画及び協働によるまちづくり条例」の理念を実践すべく行政側にも遂行を促し、“地域で出来る事は地域で”の考えのもとに“頼りになる”存在となることを目指していくものとします。

『自治会活動の手引き』

—令和6年度版お手元へ—

奈良市自治連合会では、自治会活動の指針となるものとして、今年も「自治会活動の手引き」を発行し、市内全自治会に配布させていただきました。

「自治会活動の手引き」は、自治会交付金や届出について等、自治会に関する情報とともに奈良市公式ホームページに掲載されています。

右のQRからご覧いただけます。



地域一丸となって課題と向き合う

—令和6年度専門部会の取り組み—

地域自治協議会推進部会

自治会加入率が低下するばかりでなく、担い手不足なども深刻となり、人とのつながりも希薄になってきましたが、反面、防災防犯・環境整備・福祉などの面で地域が担う課題が増えています。

このため、地域を構成する団体や個人がそれぞれの強みを生かし弱みを補い合いながら、総力で地域の課題を解決していく必要があります。

市自治連合会は、この地域を一体化した新たなコミュニティの仕組みを「地域自治協議会」と呼称し、行政とも連携しながら設立への取り組みを続け、9月時点で17地区が地域を代表する組織として市条例による設立認定を受けました。

まだ道半ばであります。これまで地域コミュニティの中心的役割を担ってきたのが自治会であり、自治会長が地域の団体役員を担っている場合も多く見受けられ、新しい仕組みづくりへの素地ができています。したがって、まだ元気な今のうちに、将来への危機感を持ち自治連合会長・自治会長が中心となり設立への機運を盛上げていただきたいと思います。

(部会長：吉岡 正志)

地域課題検討部会

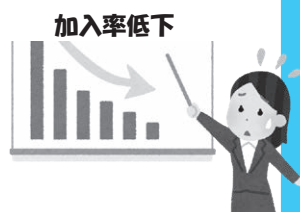
今年度より毎月の定例会内で、全地区自治連合会会長、相談役、ご出席の地域自治協議会会長および行政参加で、現在直面している様々な課題の中から、個々ではなく奈良市自治連合会全体に関わる課題に優先順位をつけ、選んだテーマについてみんなで議論を重ねて、解決策を見つける目的で、地域課題検討部会を設置しました。

進め方は、地域課題抽出→どのように解決に導いていくのか→今後やるべきこと、の3回(3か月)を1スパンとして取り組んでいきます。

また課題解決のため、外部有識者の招へいや必要に応じて先進地への視察等を考えています。

【主な課題】

- ・担い手不足
- ・会長、役員等の高齢化
- ・会長、役員等の単年化
- ・自治会加入率の低下



(部会長：池口 光隆)

令和6年度 奈良市自治連合会 会員名簿

ブロック	地区名	会長名	役職	ブロック	地区名	会長名	役職
中部Ⅰ (5地区)	飛 鳥	平島 幸徳	副会長・ブロック長 事務局長	西北部Ⅰ (4地区)	登美ヶ丘	武智 一記	副会長
	済 美	池口 光隆			東登美ヶ丘	河野 良彦	
	済美南	長谷川憲二			平城西	ニックヤンバル	
	鼓 阪	平野 康隆			鶴 舞	階戸 幸一	
	佐 保	岡崎 忠直		二 名	畝山 政男	監事	
中部Ⅱ (4地区)	椿 井	尾形季久雄	西北部Ⅱ (4地区)	青 和	日夏寛次郎	ブロック長・監事	
	大 宮	長本 晶夫		富 雄	大谷 廣信		
	佐保川	金野 秀一		鳥 見	山田 昌彦		
	大安寺西	古谷 頼和		田 原	北森 雅人		ブロック長
南 部 (6地区)	東 市	紀平 寛治	東 部 (6地区)	柳 生	大窪子保治	ブロック長	
	明 治	野口 隆身		副会長	大柳生		東浦 光昭
	辰 市	土井 実		副会長・ブロック長	東 里		佐野 勝彦
	帯 解	六十谷 進		狭 川	東田 和臣		
	精 華	吉崎 弘俊		月ヶ瀬	紙家 光郎		
	大安寺	市川 恵一		神 功	朝田 眞史		
西南部Ⅰ (7地区)	伏 見	山口 誠	北 部 (5地区)	右 京	中嶋 一樹	会長・ブロック長	
	伏見南	福田 順登		朱 雀	作間 泉		
	西大寺北	桐山 元		左 京	田中 明		
	六条校区	舛川 隆雄		佐保台	川本 了造		
	あやめ池	高西 信治	都 祁 (4地区)	並 松	長山 誠也	ブロック長	
	都 跡	堂上 健次		吐 山	大西 均		
	平 城	井村 誠之		都 祁	福井 英志		
西南部Ⅱ (4地区)	学園南	温井 久男		ブロック長・監事	六 郷		森田 公良
	富雄南	上谷 勝	(大宮)	吉岡 正志			
	奈良 帝塚山	小嶋 勉	(大安寺西)	梅林 聡介			
	学園三碓	頭川 訓子	令和6年9月現在				

令和6年9月現在

基盤組織として活性化へ

—奈良市自治会長研修会—

令和6年7月7日（日）午後1時から奈良市役所正庁にて自治会長研修会を開催しました。当日は、300名を超える奈良市内の自治会長及び役員等の方々にご参加いただき、奈良市からは仲川市長、真銅副市長、鈴木副市長にもご出席いただきました。

仲川市長と奈良市自治連合会 作間会長のあいさつのあと、自治会活動の手引きについて作間会長から説明があり、続いてクリーンセンターと避難行動要支援者についてそれぞれ市担当課から説明がありました。

《自治会活動の手引き》自治会活動のお役に立てていただこうと、自治会の目的や機能、取り組み等を始め自治会活動と関わりの深い奈良市の担当課・窓口、町内清掃、自治会交付金等について毎年内容を更新しており、内容について説明を行いました。

《新クリーンセンター建設事業について》（クリーンセンター建設推進課）現ごみ処理施設である環境清美工場の現状と、奈良市がどのような施設を作ろうとしているのか他都市の事例を交え紹介されました。

《避難行動要支援者について》（福祉政策課）避難行動要支援者と個別計画・支援プランについての説明と、個別計画・支援プランの取り組み例が紹介されました。



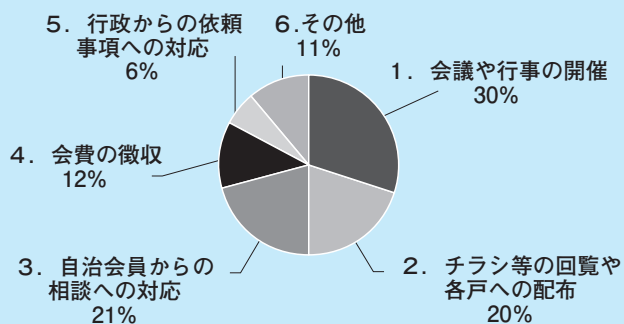
自治会長研修会 会場のようす

当日ご協力いただいたアンケートの結果では、自治会活動を行う上で負担になっているものとして、会議や行事の開催が30%と最も多く、次いで自治会員からの相談への対応が21%、チラシ等の回覧や各戸への配布が20%となっていました。少子高齢化、生活様式の多様化などで、自治会活動を負担に思う方は少なくありません。自治会役員の負担軽減として会議の簡略化、IT化、活動内容の精査等に取り組む自治会もあります。奈良市自治連合会でも自治会の負担軽減について協議してまいりたいと思います。

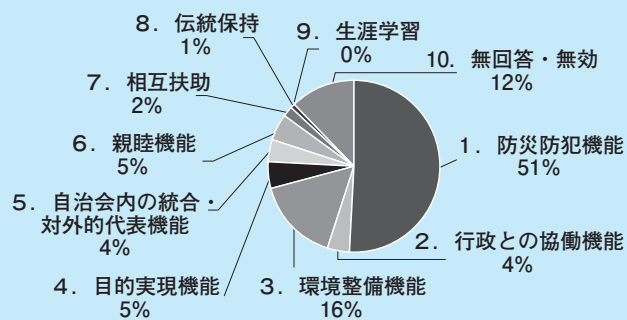
自治会機能として最も重要だと思うものとして、「防災防犯機能」が51%と約半数を占めており、有事の際の地域の繋がりを大切に思う自治会長が多いことが分かります。実際に大規模災害では地域の結束力が支援につながる場合があります。

奈良市自治連合会では、次年度以降も引き続きこうした研修会の機会を持ちたいと考えています。

自治会活動を行う上で負担になっているものは？



自治会の機能として、最も重要だと思うものは？



自治連合会OBの 今だから言えるコト

東里地区 東浦 和男

平成28年4月に東里地区自治会長となり、東部地区のブロック長として奈良市自治連合会に参加させていただきましたところ、その年に発足した福祉推進部会に属することになり、1年間の副会長として部会長代行ののち、4年間福祉部会長を務め、高齢者福祉を中心とした活動を進めて参りました。

令和3年5月からは、作間会長の体制下で司会担当の副会長に就任致しました。

8年間のうち、最初の2ヶ月しか定例会等で一般会長席に座ったことがありません。また、東部の山間地域のこと以外何もわからないにもかかわらず、7

年10ヶ月間も前列の役員席に座らせていただきました。

司会担当として心掛けたことは、時間配分を如何にするべきか？ということのみにつきます。奈良市等からの情報提供で毎月色々な情報があり、個々について質疑応答の時間を設けましたが、司会の方で想定した質疑と一致することもあり、全く想定しなかった質疑が多数飛び出すこともあり、時間配分が非常に難しかったと記憶しております。

今後、新クリーンセンター問題や地域課題検討部会等で議論が白熱することは安易に予想することができますが、「広く会議を起し万機公論に決すべし」をモットーに、会長はじめ役員の皆様は、奈良市自治連合会を真にあるべき姿をめざし、正しい方向に進めていただくようお願い致します。

わがまち自慢

— 地域紹介 —

支えあい助け合える地域づくり

大安寺西川辺のまちづくり協議会・自治連合会

大安寺西地区は中央に佐保川、左右に菰川・菩提川が流れ春は佐保川の桜、菩提川沿いの菜の花、秋はコスモスが楽しめます。

住民が河川を美しくと取り組んできた夏季河川清掃は、36回を迎えました。普段から河川沿いを美しく整えようとゴミの回収や、花壇の手入れをして下さる住民の方がおられます。20年前に比べると佐



5月佐保川右岸花壇の植栽のようす

保川は水質改善され水生生物の種類も多く、今年6月には、2匹蛍が飛んでいると情報提供がありました。

県立図書情報館広場ではラジオ体操、遊歩道はウオー

キングやリハビリなどで利用する住民が沢山おられます。

協議会・自治連合会では安心安全のまちづくりを推進するため災害への備え、平時からの支えあい、見守り活動。子どもから高齢者までつながり支えあえるきっかけ作りのイベント、地域拠点のふれあい会館整備、医療や介護関係機関との連携強化。継続可能な組織づくりのため従事者の環境整備、会議の透明性の向上、個々の人権を尊重し助け合い支えあえる組織構築に取り組んでいます。住民への情報発信としてホームページ・協議会ライン・広報誌を活用しています。

携わる人も楽しく、住民中心の地元手作りの秋祭りを自治会・各団体・企業等と連携し、11月3日開催に向けて企画しています。

6月にJR関西本線高架事業高架工事起工式が行われ、都市計画道路西九条佐保線の整備も進められています。地区IC（仮称）新駅周辺まちづくり委員会を設け関係機関と情報共有・連携し住みよい地域づくりを進めています。尚、令和11年4月頃、新駅完成の予定です。

暮らしやすい町「東登美ヶ丘」

東登美ヶ丘地区自治連合会

東登美ヶ丘地区は、鉄道は北に近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」、南に近鉄奈良線「学園前駅」があり、道路は、北は国道163号線から京奈和自動車道へ、南は第二阪奈有料道路へとつながっています。そして、大手スーパー等の商業施設や医療機関が多数あり、幅広い世代の住民にとって利便性の高い暮らしやすい地区となっています。

また、当地区では、音楽に触れ親しむ機会として様々な音楽関係のイベントを開催しています。昨年10月15日（日）自治連合会主催の「とみの里音楽祭」（古き良き時代のジャズ・ラテンともう一度聴きたいあの名曲、あのメロディ）では、出演者25名（司会者含む）の本格的ビッグバンドの迫力ある生演奏をお楽しみいただきました。恒例となった昨秋の第20回ふれあい文化祭では「ふれあい音楽会」として「奈良フィルハーモニー」の演奏で参加者の皆様と

懐かしのメロディを大合唱しました。また、地区社会福祉協議会（以下「社協」）と民生・児童委員協議会（以下「民児協」）の共催行事「ふれあいサロン」では、珍しい琵琶湖よし笛とコカリナ演奏を、今年度の社協総会ではプロのジャズバンドにライブ演奏を披露いただきました。

今年度9月28日（土）には社協と民児協の共催による未就学児と小学生対象の①サイエンスマジックショー②ビンゴゲーム大会など、「子どもサマーフェスタ」を開催する予定です。

上町台地（大阪・上六）より移り住んで早や60年。今は成熟しつつある町のうねりを感じながらこの街の行く末を夢みる日々です。



とみの里音楽祭での楽しいひととき

編集後記

8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、社会活動・経済活動を滞りなく行い、そのうえで地震への備えを再確認する目的で南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。そうしたなか、水・米が店頭から消える現象が現れましたが、各個人が自分で考え判断し行動することが大切ではないでしょうか。（編集委員長 長谷川）